

# 課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	H16.7.20	建設部	技術管理室	-	-	-	-	2建技01	建設 - 10

業務名称	公共工事コスト縮減等業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	効率的な公共工事の執行を図る	(縮減額) / (従来型設計額) (秋田市全体分)	4.81%	5%	6.0	11,101
担当業務目的	秋田市が発注又は補助する工事等に要するコストを縮減する	(縮減額) / (従来型設計額) (技術管理室協議分)	6.10%	5%	6.0	11,101

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費 (千円)	備考欄
活動における指標		実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 コスト縮減のために設計協議を行う					・平成15年度実績:協議件数 / 工事発注数 132 / 545 = 24.2% 協議件数: 技術管理室協議分...土木関係68件、建築関係19件、機械関係20件、電気関係25件 土木・建築;予算額で3,000万円以上 機械・電気;予算額で1,000万円以上 (要綱第2条) 事業担当課所室協議分...545 - 132 = 413件 (300万円以上) (要綱第7条)
協議件数 / 工事発注数		24.2%	30%		
設計担当者と事前協議を行う 事前協議の内容が反映されたかどうかを設計図書で確認する					
02 コスト縮減のために新しい工事発注方法の調査・研究をする					
導入・実施の可否を決定する年度(H19)		-	-		
コンストラクションマネジメント等について調査・研究する 公共事業支援統合情報システム等について調査・研究する					
03 職員の技術力を向上させる					・平成15年度実績:参加者数 / 技術系職員数 111人 / 250人 = 44.4% (研修参加者延べ人数は206人) (技術系職員数:建設部、下水道部、都市整備部、農林部の課長職以下の技師職員数とする。)
研修参加率		44.40%	50%		
研修に参加させる					
04 適正な積算のための基準・単価を管理する					
適正処理率		100%	100%		
新土木工事積算システムを管理する 公共工事積算基準・単価を管理する					
05 公共事業再評価事業					
適正処理率		100%	100%		
公共事業再評価審議委員会を開催する 市長へ答申内容を伝える					